

2015 年 10 月 23 日～11 月 1 日 台湾 龍洞クライミング

参加者：K 取ご夫妻、K 田さん、O 島さん、K 川さん（他会）（10/23-11/1）、S 本（10/23-27）

■旅行のメモも兼ねているので、読みづらい表現となっている。

成田空港 7：50 発 桃園（タオユェン）国際空港行き（フライト時間は 2 時間 50 分）

7：50 のフライトに間に合うには、手荷物検査も考慮すると、前泊となる。

しかし、近年 LCC が流行っていることから神奈中でもそれに対応する形でリムジンバスが用意されている。

相模大野 01：05（深夜）発(2,000 円)に乗車すると、成田空港第 3 ターミナルには、3：00 に到着する。

このバスに乗ると空港で仮眠すれば、あっという間にチェックイン案内が始まる（6：00）。

ただ、欠点としては、平日であっても、フードコートやロビーには沢山の旅行者がいるため、3：00 着では仮眠に適したソファは確保できない。

なので、空港のフードコートで夕飯を済ませる様なスケジュールか、床で寝ることを想定し寝袋とマットを持ち込むか、どちらか都合が良い方を選択すべきである。



成田空港第 3 ターミナル フードコート

桃園国際空港到着後、1 階まで下り、台北行きのリムジンバスに乗る（125 元≒500 円）。

台北までの乗車時間はおよそ 1 時間。台北駅は周辺に降ろされるため、台北での移動は三越がランドマークとなるため、それで現在地を認知すると良い。

三越 1 階にある銀行（三越総合案内の左端）で、円から元に両替するとレートが良い。

この頃、ちょうどお昼（日本時間-1 時間）となるため、台北周辺で食事することと、是非、台北の山道具屋郡に立ち寄ること。通常ここでトボ図を手に入れる。（住所：No. 1 號, Section 1, Zhongxiao W Rd, Zhongzheng District, Taipei City, 台湾）



台北地図



桃園国際空港 到着ロビー



山道具屋



昼食 大腸麺 (ホルモン入ソーメン?)



台北駅



路線図

基隆まではバスも多く発着しているので、利用しても構わないが、時間に余裕があれば公共交通機関の概要を把握するためにも電車がオススメ。その際に電車の券売機はやや複雑であるため事前にコンビニで **easy card** (IC カード) を購入した方がよい。チャージは **1000 元** もあれば十分。

台北から基隆は急行（自強との表示）電車で **1 時間** 程度で到着する。八堵という駅から枝分かし、基隆に向かうのでそこだけ注意が必要。また、乗り換え電車のホームがかわるので大荷物を持ってでは不便で、台北から直通に乗ったほうが良い。

基隆は大きな港町であるので、やや潮臭い。

台湾の方は、50 歳以上は日本語が通じ、20～35 歳以下くらいは、英語もしくは日本語が通じるので話しかけると親切に教えてくれる。

今回の宿は e-coast star hotel。おそらく、用途変えたり、改修を重ねたせいなのか、不具合な箇所が多々あった。しかし、宿泊費は 3,000-5,000 円/泊程度（朝食付き）であり、室内は清潔感がある。そして、店員も。朝食は 7:00 からで、パンに雑炊、ウインナー、ナゲット、コーヒーと豊富でありつつい食べ過ぎてしまう。

タッパーを持参すれば、サンドイッチを作り行動食としても良い。（店員の下承必要）

初日の夕食は台北から基隆まで案内していただいた少年と食事する予定だったが、少年は待ち合わせに現れず。なのでホテルの目の前の海鮮料理のお店で済ませた。

屋台や、下駄履きの店舗では、食材を選び注文する。しかし、煮るのか焼くのかといった細かいオーダーは無く、この食材によって調理方法が決まっている様子であった。



基隆地図



基隆まで案内していただいた少年



基隆駅北口 新駅舎



街並み





ホテル エントランス どうやら日本好きみたいである。



ホテル外観



2人部屋 男性同士だとかなりあやしい寝方になる。



初日夕飯

10/24 backdoor（後門） area 天候：小雨

ルート：No19(5.9),20(5.10a)

朝食を済ませ、8：30に基隆駅そばのバス停に行く。そこから「福隆」行き 791 番バスがでているとの情報があった。しかし、ホテル近くの「市政府」バス停（セブン-イレブン前）からも乗車できることがわかった。初日以降は市政府から乗車した。

龍洞-市政府間の乗車賃は片道約 60 元、基隆駅までは 65 元。これも easy card が利用できる。

のちのち現地の大学生（陳さん台北大学山岳部 3 年金融学専攻）に教わったのだが、基隆のバス停には日本のように時刻表がなく、間隔しか表示されていないので、ひたすら待つしかなかったが、「台北等公車」（iOS&android）がフリーでダウンロードでき、タイミングを見図れる。



陳さん

バスに GPS がついており、現在どこのバス停にいるか、あと何分で到着するかが把握できる。それを初日と 2 日目は知らなかったため、バス停で 1 時間待った。福隆行きは 1 時間に一本程度の頻度。

この日は、小雨であったため、カムをホテルに置いて、アプローチの下見気分で向かったが、岩の乾きは早く、TR でクライミングを楽しめた。

そのエリアには多くのクライマーがいて、偶然、劉さんとであった。私は初めましてだが、K 取さん、K 田さん、K 川さんは昨年訪れており、友人である。



アプローチ



アプローチ 2



backdoor area



現地の美術の先生と交流 皆親切。





クライマーの犬たち 白い方は 名前スノー 劉さんのいぬ。



劉さん





クライミングの様子

この日の夕飯はみんなで夜市にでかけた。休日ということもあり、とても混雑していた。

夜市入り口の屋台にしたが、店員とは言葉が通じず、あれもこれも注文してしまった。

殆どの料理ににんにくが使われて、また薄味なのでとても美味しい。しかし、あれこれ注文してしまった中に、鯉の炒めものがありこれは生臭くておいしくなかった。



夜市にて



夜市後にしめで

10/25 golden valley area (黄金谷) 天候：曇のち晴れ

ルート：No169(5.9)、173(5.10a)、154(5.11a)

その名のルーツはハングした箇所が金色に見えるとか。

このエリアは流行りが終わったようでガラ空き状態であったが、2 パーティと出会った。

カナダ人、アメリカ人、台湾人女性（確かシンさん）とお話もでき、アメリカ人の彼女は日本の方らしく、日本語も堪能であった。もう 1 パーティは、会話しなかったが、楽しそうにクライミングしていたようだ。











クライミングの様子 ロケーションがバッチリ。

この日の夕飯は昨年、通った「阿同海産」。大衆食堂であり、観光客はいなかったのっぽったくられた感じはしない。かつ美味しい。



夕飯 阿同海産にて

10/26 music hall area (音楽堂) 天候：晴れ強風

ルート：383(5.7)、367(5.11a)TP、366(5.8)、402(5.7)、417(5.10a)



ホテルでの朝食の様子



海岸淵の小学校 とても鮮やかな外構。

アプローチは海岸に沿って歩くため、絶壁をトラバースする怖いところが多い。

取り付き手前には、釣り人か現地の海女さんが設置したのであろう、か弱い橋がある。今にも崩れそうでここも核心である。

ここのエリアはフェイスとクラックも充実しており、楽しめる。



怖いトラバース











クライミングの様子



帰りは満潮。

夕飯は、基隆駅の時刻表をゲットついでに色々散策したが、結局ホテル前のお店（初日の店の隣）にした。ここも言葉が通じず、一苦労したが、ここの角煮はとても美味しい。ハンパではなかった。この店はお酒をきらしていたので、セブン-イレブンで調達し、飲みながら食事出来た。



S 本、最後の夕飯

10/27 S 本帰国

基隆から台北まで大荷物を持ち電車はやや面倒だが、高速道路が事故の場合は便に乗り遅れるので電車が良いと思う。

7:00 発の自強電車に乗車したが、どうやら、車両によっては指定席のようだ。

空いていたので座っていたらどいてくれ、言われてしまった。

今回は台北から桃園国際空港まではリムジンバス（三越斜向かいのターミナル パナソニックの看板がよく目立つ：國光客運 1819 番）を利用したが、電車の停車駅をみていると「桃園」という駅があるのでそこからバスもしくはタクシーの方が早くて、安心かも知れない。

台湾の喫煙事情については、屋内は住宅や店舗も含め禁煙みたいである。

従って、屋外に限定されるが、歩きタバコは OK、灰皿も等間隔で町の中に設置されている。

屋内で仮に喫煙が見つかった場合は 40,000 元≒160,000 円と記載してあった気がする。

空港では、出国審査後も免税店がたくさんあるのでそこで買物をすると良い。タバコ、お酒もある。

ちなみに喫煙所は 8 番ゲート前にある。見逃しやすいので注意。

その後無事帰国した。

S 本クラック記

S 本さんの面白い「その 1」報告があったので、その 2 で後半の様子を報告しよう。

S 本さんは早朝 7 時の電車で帰国の途についたが、残ったメンバーはその日もゆっくりと龍洞の岩場へと向かった。初めてバスではなく、タクシーで行ったが、料金は 630 元（2520 円）。

途中停まらないので 30 分で到着（この後も 1 回行ったが、帰りの割り増し 100 元を含めて似たような料金で、タクシーのぼったくりは無い感じ。）

アブローチの近い「校門口」へ



549 (5.7)、552(5.10a)、542(5.10b)等を登っていると、突然ウェディング姿の花嫁が現れた。しかもカメラ、メイクさんらのスタッフを従えて。

台湾テレビの撮影かと錯覚したが、クライマーカップルの結婚式用写真の撮影らしい。

その後花嫁は太腿も露わに、ドレス姿で岩を登りだしたのには吃驚。（なんとドレスの下にハーネスを着けていた。）





後で判明したが、彼女は劉さんの友達とのこと。（クライマーの世界は台湾でも狭い？）

翌日は今回最初のレスト日、基隆の街を観光（酔いつぶれて寝ていたメンバーもいたようであるが・・・）



街の高台にある中正公園の観音像（中に入れる）



中正公園から見た基隆の街と港

10/29、30 は前回行かなかったエリア「第1洞」と「第2洞」へ



このエリアの三ツ星 284(5.10a)3 p



5.9のクラックだが、難しい。とワイワイやっているとNさんの友人のW嶋さんがひょっこり顔を出した。聞くと空港からダイレクトに駆けつけたらしい。
早速5.9のクラックで修行に励んでもらう。



第2洞の5.9クラック



10/31 台北へ出て、台湾の友人たちと人工壁で交流

天気は雨で人工壁へ行くのには好都合、台北で一番大きなジムは遠くて、コンペをやっているとかでやめにし、体育センター？の外壁にある壁へ。



トップロープ壁とかぶり壁の2つが外に、室内には小さなボルダー壁があった。

ある程度登れる人も、まったくの体験者も一緒みたいな所でした。(有料 110 元)



登った後は、台湾の若い人たちが行く海鮮主体の飲み屋さんで交流。

いよいよ最終日、この日も雨予報だったが、結構登れた。

またアプローチの近い校門口へ



小雨の中でクラックを登る、台湾のペア。日本には10ピッチくらいの壁もあると言ったら吃驚していた。(台湾には無いのかな?)

結局レスト1日、交流1日を除いて7日間登りました。疲れたけれど充実した台湾クライミングでした。この後大阪隊もやってきた。そうそう相模原・橋本から来たクライマーにも会った。龍洞の岩場は日本でもメジャーになってきたようだ。

K 取記